

クラシック界の新境地に辿り着いた2つのDuoがかつてない音楽を奏でる！

Double Duo Japan Tour 2016

“PercuDuo” Philippe LIMOGÉ
Damien PETITJEAN

“R2” 三上 亮
金子 鈴太郎



目 仏

東京公演

2016.4/5 火 18:30開場 19:00開演
ルーテル市ヶ谷ホール

東京都新宿区谷砂土原町1-1
(JR総武線 市ヶ谷駅より徒歩7分)

福岡公演

2016.4/8 金 18:30開場 19:00開演
あいれふホール

福岡県福岡市中央区舞鶴2-5-1 (福岡市健康づくりサポートセンター)
(福岡市地下鉄空港線 赤坂駅より徒歩4分)
後援: (株)ヤマハミュージックリテイリング
チケット取扱: ヤマハミュージック福岡店 ☎092-721-7621 (アクロス福岡B1)
協力: 麻の会 Queen's企画

広島公演

2016.4/10 日 14:30開場 15:00開演
エリザベト音楽大学 セシリアホール

広島県広島市中区鞆町4-15
(JR広島駅より徒歩12分・市内電車 銀山町駅より徒歩4分)
共催: エリザベト音楽大学

国境を越えた別次元の世界！

- A.ピアソラ / リベルタンゴ
Astor Piazzolla: Libertango
- G.ガーシュイン / ラプソディインブルー
George Gershwin: Rhapsody in Blue
- L.バーンスタイン / ウェストサイドストーリー
Leonard Bernstein: West Side Story 他

Ticket

全席自由 ¥3,000

主催
チケット販売
お問い合わせ

KEDIA Music Create
ケディアミュージッククリエイト

☎/FAX 047-727-6570 ✉ kediajapan@gmail.com

プレイガイド

チケット
ぴあ

☎ 0570-02-9999
(Pコード: 285-489)
<http://t.pia.jp>

© Nobuo MIKAWA

“PercuDuo” プロフィール

デュエット、それは間違いなく要求の多い室内楽の形であり、それは相互の信頼や自信に裏打ちされた暗黙の了解と個人の技量が確立されていないと成し得ないものであるが、2人の友情と技術はデュエットという音楽形態をいとも簡単に、そして魅力的に奏でることができる。クラシックの確固たるフォーメーションを多数経験した2人は、スタイルを熟知し楽器の素材をさらに追求する事で、力強くもかつエレガントな音楽を表現する。フランス国内はもとより、ヨーロッパ全土そしてアメリカ大陸でもコンサートの成功を収めたデュオがここに。2005年に結成、現在までに2枚のCDを収録。

フィリップ・リモージュ

Philippe LIMOGE



12歳よりトロワ国立音楽院でバスカル・デュボー氏のクラスで打楽器を始める。16歳時同音楽院を首席卒業。18歳時にパリ国立高等音楽院に入学、ジャック・ドゥレクリューズ氏のクラスにて研鑽を積む。21歳で同音楽院を審査員称賛付き満場一致首席卒業。23歳の時フナベックコンクールにて優勝、26歳よりモンペリエ国立音楽院の教授就任現在に至る。27歳時にクラマル国際打楽器コンクールにて優勝、29歳時にクレルモンフェラン国際ピブラフォンコンクールにて準優勝。若くして、ブーレーズ、エッセンバッハ、イエルヴィ、クレイヴン率いるパリ国立管弦楽団、パリオペラ座管弦楽団、リヨン国立管弦楽団、フランス放送響など一流オーケストラにてパーカッション、ティンパニ奏者として演奏、国内外のツアーに参加。2007年-2011年フランス打楽器協会会長を務める。2000年-2011年ラティニクスプラスバンドにて指揮者として活躍。1996年から現在も毎年夏に行われる打楽器、金管合宿《Epsival》の音楽監督として就任。2005年よりミシェル・ベッケ率いるトロンボーンアンサンブルOCTOBONEの1stパーカッションニストとしてCD2枚を収録。フランス国内はもとより、欧州をはじめとしてカナダ、ベネズエラなどでもマスタークラスや演奏会、国際コンクールの審査員として活躍。コンチェルト委託作品は3曲、全て出版化されている。【エリック・サミュット「Sailing for Phil」、ディディエ・ベネティ「Resurgence」、マーク・リス「Trip sticks」】ヤマハ（マリンバ、ピブラフォン）、セイビアン（シンバル）、ラクロワスティック（マレット）プレイヤー。

12歳よりトロワ国立音楽院でバスカル・デュボー氏のクラスで打楽器を始める。16歳時同音楽院を首席卒業。18歳時にパリ国立高等音楽院に入学、ジャック・ドゥレクリューズ氏のクラスにて研鑽を積む。21歳で同音楽院を審査員称賛付き満場一致首席卒業。23歳の時フナベックコンクールにて優勝、26歳よりモンペリエ国立音楽院の教授就任現在に至る。27歳時にクラマル国際打楽器コンクールにて優勝、29歳時にクレルモンフェラン国際ピブラフォンコンクールにて準優勝。若くして、ブーレーズ、エッセンバッハ、イエルヴィ、クレイヴン率いるパリ国立管弦楽団、パリオペラ座管弦楽団、リヨン国立管弦楽団、フランス放送響など一流オーケストラにてパーカッション、ティンパニ奏者として演奏、国内外のツアーに参加。2007年-2011年フランス打楽器協会会長を務める。2000年-2011年ラティニクスプラスバンドにて指揮者として活躍。1996年から現在も毎年夏に行われる打楽器、金管合宿《Epsival》の音楽監督として就任。2005年よりミシェル・ベッケ率いるトロンボーンアンサンブルOCTOBONEの1stパーカッションニストとしてCD2枚を収録。フランス国内はもとより、欧州をはじめとしてカナダ、ベネズエラなどでもマスタークラスや演奏会、国際コンクールの審査員として活躍。コンチェルト委託作品は3曲、全て出版化されている。【エリック・サミュット「Sailing for Phil」、ディディエ・ベネティ「Resurgence」、マーク・リス「Trip sticks」】ヤマハ（マリンバ、ピブラフォン）、セイビアン（シンバル）、ラクロワスティック（マレット）プレイヤー。

ダミアン・プチジャン

Damien PETITJEAN



7歳よりサンティティエンヌ国立音楽院にて打楽器を始める。15歳で首席卒業その後サンティティエンヌ国立大学にて数学、化学、物理学を学び学位を取得。並行して音楽を学び続け、20歳時パリ国立高等音楽院に入学、ジャック・ドゥレクリューズ氏のクラスにて研鑽を積む。24歳の時にユース、グスタフマーラーオーケストラツアーに参加、25歳同音楽院を首席で卒業。翌年、ミュンヘン国際音楽コンクールにてファイナリスト、さらに翌年、パリ国立高等音楽

院の大学院を首席で卒業する。同年よりパリオペラ座管弦楽団打楽器ソリストとして就任現在に至る。国内の一流オーケストラと共演を重ね、さらにいくつもの音楽院の教授を兼任し、若手の指導にも力を入れている。審査員としてもパリ国立高等音楽院を始め招待を受けている。1996年から現在も毎年夏に行われる打楽器、金管合宿《Epsival》の音楽監督として就任。その他、2007年からはパリオペラ座首席ヴァイオリン奏者のエリック・ラクルトと Duo Contrastes を結成、CDを1枚収録。ヤマハ（マリンバ）、セイビアン（シンバル）、ラクロワスティック（マレット）プレイヤー。



“R2” プロフィール

日本を代表するプレイヤーとして活躍する三上亮と金子鈴太郎が2010年に結成したデュオ。トウキョウ・モーツァルトプレイヤーズやサイトウ・キネン・オーケストラなどでも共演する2人が、ヴァイオリンとチェロのみという異色のコンビネーションだが、その独特な選曲と輝かしい音色で聴衆を彼らの世界に引き込む。クラシック界の中心で活動する中、2ヶ月で全国30公演を行うほど精力的に活動し、その音楽は各地で賞賛され続けている。

三上 亮

Ryo MIKAMI



東京芸術大学音楽学部首席卒業後、アメリカ南メソヂスト大学メドウズ音楽院、ローザンヌ高等音楽院、メニューイン国際音楽アカデミーで研鑽を積む。景山誠治、エドゥアルド・シュミーダー、ピエール・アモイヤル、アルベルト・リジー諸氏に師事。安宅賞、日本音楽コンクール第2位、ブリテン国際ヴァイオリンコンクール特別賞、フォーヴァルスカラシップ・ストラディヴァリウスコンクール第2位など受賞。2013年、オーストリアの巨匠ピアニスト、イェルク・デームス氏と東京王子ホールでデュオリサイトを開催し好評を博した。その他、NHK-Eテレ「らららクラシック」やNHK-FM「気ままにクラシック」などにも出演。札幌交響楽

団コンサートマスター、東京芸術大学非常勤講師、日本音楽コンクール審査員など歴任。現在サンアゼリア・フィルハーモニカのコンサートマスターやトウキョウ・モーツァルトプレイヤーズのコンサートマスターを務める他、サイトウ・キネン・オーケストラ、ヴィルタスクワルテットのメンバーとしても活躍。これまでに「ツィガヌ」 「奏」 など4枚のCDをリリース。公式ウェブサイト <http://ryomikami.com>

金子 鈴太郎

Rintaro KANEKO



桐朋学園ソリスト・ディプロマコースを経て、ハンガリー国立リスト音楽院に学ぶ。コンセル・マロニエ、国際ブラームス・コンクール、カルロ・ソリヴァ室内楽コンクールなど、国内外の数々の国際コンクールで優勝、入賞。イタリア・キジアーナ音楽祭にて、名誉ディプロマを受賞。2004年松方ホール音楽賞大賞受賞。2008年1月のパッハ：無伴奏チェロ組曲全曲演奏会が高く評価され、音楽クリティック・クラブ奨励賞を受賞。バロックから現代曲までの幅広いレパートリーを演奏し、これまでに日本やハンガリー、オーストリアにおいて数々の世界初演をおこなう。2001年ハンガリーで現代音楽グループ“shyra”を結成。2003年～2008年大阪交響楽団特別首席チェロ奏者。現在はトウキョウ・モーツァルトプレイヤーズ首席、Super Trio 3°C、ZAZA quartet、Quartet MARK、長岡京室内アンサンブル 各メンバーの他、サイトウ・キネン・オーケストラ、ジャパ・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニーオーケストラ等で活躍中。公式ウェブサイト <http://rintaro.online.fr/>

桐朋学園ソリスト・ディプロマコースを経て、ハンガリー国立リスト音楽院に学ぶ。コンセル・マロニエ、国際ブラームス・コンクール、カルロ・ソリヴァ室内楽コンクールなど、国内外の数々の国際コンクールで優勝、入賞。イタリア・キジアーナ音楽祭にて、名誉ディプロマを受賞。2004年松方ホール音楽賞大賞受賞。2008年1月のパッハ：無伴奏チェロ組曲全曲演奏会が高く評価され、音楽クリティック・クラブ奨励賞を受賞。バロックから現代曲までの幅広いレパートリーを演奏し、これまでに日本やハンガリー、オーストリアにおいて数々の世界初演をおこなう。2001年ハンガリーで現代音楽グループ“shyra”を結成。2003年～2008年大阪交響楽団特別首席チェロ奏者。現在はトウキョウ・モーツァルトプレイヤーズ首席、Super Trio 3°C、ZAZA quartet、Quartet MARK、長岡京室内アンサンブル 各メンバーの他、サイトウ・キネン・オーケストラ、ジャパ・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニーオーケストラ等で活躍中。公式ウェブサイト <http://rintaro.online.fr/>